

令和6年度第3回 可児市地域公共交通協議会 議事（要点）録

1. 開会日 令和7年3月18日（火曜日）
開会時間：午前10時30分
閉会時間：午前11時40分

2. 開会場所 可児市役所4階 第1会議室

3. 出席者 会長 肥田 光久
 委員 只腰 篤樹 永井 泰孝
 夫馬 康昌（代理） 水野 泰行
 林 則夫 伊藤 佳林
 横田 賢二 堀部 勝三
 谷口 新二 渡邊 雅美
 下平 真一郎 柘植 清一
 若園 賢一 城戸脇 研一
 倉内 文孝

4. 事務局 建設部 都市計画課長 柴山 正晴
 都市計画課 公共交通係長 長沼 毅
 都市計画課 公共交通係 吉村 孝徳

5. 議事 協議（1） 令和7年度事業計画(案)について
 協議（2） 可児市地域公共交通計画(計画期間:R9～)について
 報告（1） 東濃鉄道路線バス帷子線について
 報告（2） 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)について
 報告（3） さつきバス停留所のバリアフリーの状況と啓発マークについて
 その他（1） さつきバス車両のラッピングデザインについて
 その他（2） バスロケーションシステムの運用について

6. 会議内容 開会 事務局 会長あいさつ 会長 非公開情報の確認 事務局 議事録署名者の指名 会長 協議第1号 事務局	開会を宣言した。 あいさつを行った 非公開情報はない旨を報告した。 議事録署名者として、2名の委員を指名した。 令和7年度事業計画(案)について、資料1-1、1-2に基づき説明を行った。
質 疑 応 答	
二村氏	資料1-1の5番の「交通結節点の整備」に関して、事業内容に「店舗や病院を活用したバス待ち環境の整備」と記載しているが、どのように展開していくのか。
事務局	今年度も乗継拠点となる「ヨシヅヤ可児店」に、事業者協力のもと、屋根付きの待機所にベンチを置かせてもらうこととした。店舗等にも協力してもらいながら、充実を図っていききたいと思う。
二村氏	岐阜市ではバス待ち環境の整備の一環で、コンビニと連携した取り組みをしているので、参考にしていきたい。
伊藤委員	資料1-2のような資料は、とても大切なことであり、病院と近くのバス停が見てすぐ分かるようなものを市民の方にも提供できたらよいと思う。
事務局 協議第2号 事務局	資料自体は公表させていただくが、地域ごとで整理するなど、分かりやすくしたものを公表できるよう取り組んでいきたい。 可児市地域公共交通計画(計画期間:R9～)について、資料2-1、2-2に基づき説明を行った。

	質疑応答は特になし
報告第1号 事務局	東濃鉄道路線バス帷子線について、資料3に基づき説明を行った。
	質 疑 応 答
永井委員	当該路線については、年間約7万人の方に利用していただき、距離も4.5万kmほど走行している。西可児地区は、年々高齢化が進んでおり、利用者の減少に伴い、毎年赤字が膨らんでいるというのが現状。 運転手も余裕人数があるわけでもないため、収益があるところに手配していかなければならない現状がある。安定した運行が継続的にできるように皆さま方にも協力をお願いしたい。
報告第2号 事務局	名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)について、資料4に基づき説明を行った。
	質 疑 応 答
林委員	いろいろな方法があると思うが、名鉄広見線活性化協議会においても、熟議されることと思う。観光の立場からすると、将来のリニア中央新幹線の開業に伴い、可児駅と中津川駅を結ぶバス路線も期待するところである。
水野委員	2月には明智駅で乗降調査を実施したが、7時～8時には140人ほどの利用があり、雪の日には、さらに多くの190人ほどの利用があった。バスに転換した場合、待機所を考えないといけないと思う。
事務局	バスに転換した場合、各駅での乗り入れなども検討しているところである。今後の動向についても、適宜共有させていただく。
報告第3号 事務局	さつきバス停留所のバリアフリーの状況と啓発マークについて、資料5-1、5-2、5-3に基づき説明を行った
	質 疑 応 答

倉内委員	資料5-3は、優先席のようなイメージであり、さつきバスの後部に貼ることを考えると、車いすの方が利用されていることも分かるように、車いすの表示も入っていた方がよいと思う。
渡邊委員	外国籍の方が運転することも多く見かけるため、そうした観点があるとういと思う。
横田委員	車いすの方が利用されると、どれくらいの時間がかかるのか。
永井委員	スロープの設置から固定まで、約5～10分程度である。
下平委員	バリアフリーの対応について、ハード面の整備が必要なところはあるか。
事務局	今回、運行事業者との現場立会の下確認したが、多くの停留所で車いす対応が可能である。できない場所は、道路の幅員の問題でそもそも歩道狭い場所や反対車線を塞いでしまうような道路のため、整備自体が難しい場所になる。
全体をを通じての質疑応答等	
夫馬氏	公共交通利用促進という観点では、「健康」というのがキーワードになる。運行事業者としても、「健康」につながる取り組みを行っていきたい。
二村氏	来年度は、全国都市緑化ぎふフェアが開催される。この機に、公共交通も含めて地域を盛り上げていただきたい。
渡邊委員	名鉄広見線に関して、現在は高校生など子どもたちが多く使っているが、子どもの出生も少なくなっており、可児でも御嵩でも大きく減少している。そうした中で、将来世代に責任や負担を掛けないように、今の大人が責任を持って決断することが大切だと思う。
堀部委員	さつきバスの無料デーの他、YAOバスの無料デーも実施しているとのこととで、次年度もあるのか。
事務局	3市町で共同で運行するYAOバスについては、無料デーを今年度から実施し、各市町のイベントに合わせて実施した。次年度以降も連携した取り組みを実施していきたい。

その他第1号 事務局	さつきバスの車両ラッピングデザインについて、資料6に基づき説明を行った。
その他第2号 事務局	バスロケーションシステムの運用について、資料7に基づき説明を行った。
閉会 事務局	閉会を宣言した。
	以上

前記のとおり会議の議事要点を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年 月 日

署名委員

署名委員
